

七月よみとりおけいこ（低）②

なまえ（

今、ハスの花がさいていますよ。ほうこんどういんや天りゅうじなど、ハスのきれいなお寺はたくさんあります。ではハスはなぜお寺に多いのでしょうか？それにはちゃんとわけがあります。

そもそもハスは古代インドで、聖なる花とされました。きたないどろをすつてきれいにさくからです。

今から二千五百年も前、仏きょうが生まれましたが、仏きょうのおしえの中でもハスはすばらしい花とされ、仏ぞうの中にはハスを持つすがたであらわされるものも出てきました。

仏きょうのおしえでは、人は生きているうちにいいことをいっぱいすれば、じごくにおちたりせず、じくらくに生まれかわってたのしくやらせるというのですが、じくらくにさくのがハスとされました。お寺にたくさんうえられているのはこういうわけなのです。

ところでハスのねっこはおいしいですね。れんこんです。ハスのくきにもれんこんとおなじようにあながいています。ハスのみは、たいわんなどではおやつとしてふつうにたべられます。ハスのはっぱは、おぼんのおそなえをもりつけるときのしきものにつかわれます。水をはじくので、水玉がころがると、見ていてたのしいです。

よくスイレンとハスをまちがえる人がいますが、スイレンは水めんすれすれにやや小ぶりの花をつけるのに対し、ハスはけつこう水上にたかくのびあがってさくので、それでみわけてください。

じょう文ハスとか大がハスとかいわれるハスは約六千年まえのタネからめが出たものなんですよ。すごいですね。おんどくサイン→

①上の文はなんのはなしでしょう？

（ ）

②なぜハスは聖なる花とされたのでしょうか？

（ ）

③仏きょうはいつごろ生まれたのでしょうか？

（ ）

④じごくにおちないようにするにはどうしたらいいですか？

（ ）

⑤じごくの反対ことばはなんですか？

（ ）

⑥ハスのねっこの正体は？

（ ）

⑦ハスのみをふつうに食べるのはどこの人？

（ ）

⑧じょう文ハスのタネは何年間ねむつていましたか？

（ ）

⑨あつてているものに○をつけましょう。

（ ）れんこんに水玉がつくと、ころがる。

（ ）ハスのくきにも穴があいている。

（ ）じごくのにわにはハスがさいている。

⑩上の文のかんそうを五行でまとめましょう。

（ ）

できばえは？

